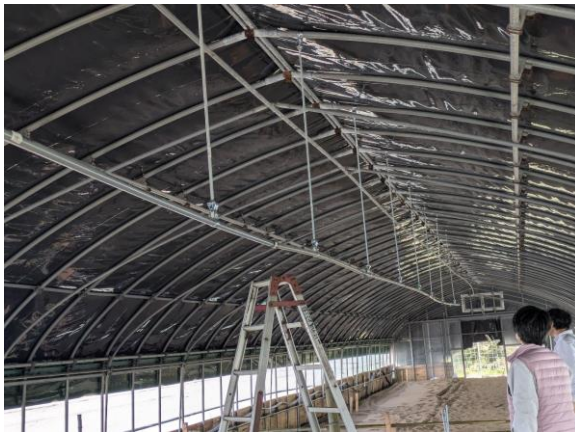


丹後地域における京地どり新規飼養農家の支援

京地どりは発育が良く飼いやすいため、新規飼養農家が増えています。当所では、京地どりの研究業務と並行し、生産拡大の取組として、新規飼養農家の支援を実施しています。

4月1日、丹後地域の農業法人が京地どりのひな300羽を導入し、飼育を開始しました。野菜用のハウスを活用して京地どりを飼育したいとの要望があり、当所ではハウスを鶏舎に改修する工事を関係機関と連携しながら支援しています。また、発育段階に応じた適切な飼養管理の指導も行っています。

京地どりは85日齢以上で出荷され、初夏にはおいしい京地どりが丹後地域から供給されます。



野菜用ハウスを鶏舎に改修工事
(給水管の設置)



改修した鶏舎で快適に過ごすひな達

※ 京地どりは、京都府が作出したオリジナルの地鶏で、令和2年にリニューアル。在来種100%の二元交雑種の地鶏で、大切に育てられ、その肉はキュッとした歯ごたえと深い味わいが特長です。